

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証一覧

No	事業名	事業概要 (実施計画に記載した内容) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費の内容 ③積算根拠 ④事業の対象	事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	担当課
			国庫 補助額	交付金 充当額	その他						
1	耕種農家事業継続支援	①感染拡大影響を受けている農業者の事業継続を図る ②販売価格が前年同月間と比較し20%以上減少した各品目の販売額について、減少した額の2割を支援 ③4農業者(381,864円)、1法人(350,000円) 事務費14,247円(1農業者10万円、1法人20万円を上限とし、持続化給付金受給者は15万円加算) ④市内在住農業者	746,111		743,000	3,111	R2.6.1	R3.2.26	売上が大きく減少した耕種農家6件(5名)に総額731,864円を補助	売上が大きく減少し事業継続が厳しい中、支援金として補助することにより、その後の事業継続へと繋がった。	農林課
2	畜産農家事業継続支援	①感染拡大影響を受けている農業者の事業継続を図る ②飼養頭数に応じて飼料費の一部を支援 ③26農業者(2,000,000円)、加算2農業者(300, 000円) 事務費16, 387円(1農業者10万円、1法人20万円を上限とし、持続化給付金受給者は15万円加算) ④市内在住農業者	2,316,387		2,100,000	216,387	R2.6.1	R3.2.26	売上が大きく減少した肥育牛・繁殖牛・乳用牛を飼養している農家27件(26名)に総額2,300,000円を補助	売上が大きく減少し事業継続が厳しい中、支援金として補助することにより、その後の事業継続へと繋がった。	農林課
3	多久市団結クーポン券発行事業	①感染拡大影響を受け停滞する市内経済の早期回復を図る ②市内商工会加盟店にて利用できるクーポン券を発行する ③1人2,000円×18,867人 消耗品費23,019円、通信運搬費2,759,275円、委託料38,106,976円(クーポン券印刷等、クーポン券換金等) 合計40,889,270円 ④市民(18,867人 令和2年6月1日現在住民登録)	40,889,270		40,888,000	1,270	R2.5.22	R3.3.26	市民一人あたり2,000円(500円×4枚)分のクーポン券を配布 総配布枚数:75,468枚(18,867人分) クーポン券利用額34,728,500円	市内商工会加盟店においてクーポン券の利用額が34,728,500円となっており、地域経済の回復に繋がった	商工観光課
4	多久市事業継続支援	①感染拡大影響を受けている事業者の事業継続を図る ②2月から7月までの1か月の売上額が前年同月比で20%以上減少した事業者に支援 1事業者10万円 前年同月比で50%以上減少した事業者で、持続化給付金受給者、セーフティーネット保証制度による市認定者、雇用調整助成金の受給者については、15万円を加算 10万円×400事業所、15万円×100事業所、事務費378千円 ③10万円×369事業者、15万円×279事業者 消耗品費24,282円、印刷製本費149,600円、通信運搬費200,252円、使用料17,446円、補助金78,750,000円 合計79,141,580円 ④市内中小企業者、小規模事業者、個人事業者	79,142,136		79,140,000	2,136	R2.5.8	R3.3.26	前年同月比で20%以上減少した事業者に対し助額10万円 90事業者 50%以上減少した事業所で加算対象となる事業者に対し補助額25万円 279事業者 市内事業者計 369事業者 補助総額 78,750,000円	売り上げ減少に苦慮する事業として卸・小売業、建設業、宿泊飲食業からの申請が特に多く、補助を行うことで事業継続の一助となった。	商工観光課
5	食TAKUプロジェクト応援事業	①経営環境が悪化する市内飲食業者の事業継続を図る ②食TAKUプロジェクト加盟店舗に対し1店舗10万円を支援 ③92店舗×10万円、補助金9,476,000円、印刷製本費467,500円 合計9,943,500円 ④食TAKUプロジェクト加盟店舗	9,531,500		9,428,000	103,500	R2.5.8	R3.3.26	1店舗あたり100,000円を補助 申請件数88件、総額8,800,000円を補助	飲食店の利用客が減少する中、テイクアウトが可能な店舗が増え経営基盤強化に繋がった	商工観光課
6	独居高齢者現況確認支援	①独居高齢者等の現況を県外在住家族に動画等で提供することにより、家族等の不安を解消する ②動画撮影、撮影スタッフ、通信機器費 ③20,000円/日×3回 ④独居高齢者	60,000		60,000	0	R2.5.20	R3.3.26	利用者1名	①多久に来ることが困難な家族からは生活状況を知ることができてその後の生活支援に結びつけた。 ②課題としては、事業対象者の家族への周知が難しかった。	地域包括支援課
7	高齢者フレイル予防支援	①高齢者のフレイル予防や認知機能低下予防、感染予防対策セットの配布 ②カレンダー(自己管理チェック表)の作成・配布や感染予防セットとしてマスク、消毒液等の配布 ③カレンダー作成 490円×2,000部×1.1、事務費803千円、感染予防対策セット(50個)715千円 ④市内ひとり暮らし高齢者等、活動実施地区	2,592,679		2,589,000	3,679	R2.5.20	R3.3.26	①感染予防資材(消毒液・マスク)の配布 50セット ②日めくりカレンダー1200冊を作成し配布	・地域の通いの場等における感染拡大防止へつながった。 ・活動(取り組み)を日めくり形式にしたことで、使いやすかったようである。 ・カレンダーに添付したチェック表(自己管理チェック)を使うことで毎日実施する機会になり、フレイル防止へつながった。	地域包括支援課

No	事業名	事業概要 (実施計画に記載した内容) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費の内容 ③積算根拠 ④事業の対象	事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	担当課
			国庫 補助額	交付金 充当額	その他						
8	子育て世帯支援	①臨時休校等の影響を受けている子育て世帯の生活を支援 ②③児童手当受給世帯に対し、1人あたり1万円を支援 1万円×2,275人 ④児童手当受給世帯	22,750,000		22,750,000	0	R2.5.19	R2.11.30	2,275人に対し1万円の給付を行った 給付額227,500,000円	コロナ禍における子育て世帯の経済負担の軽減につながった	福祉課
9	市内在住高校生支援	①臨時休校等の影響を受けている子育て世帯の生活を支援 ②市内在住高校2、3年生がいる世帯に対し、1人あたり2万円を支援 ③2万円×370人 事務費142千円 ④市内在住高校2、3年生がいる世帯	7,541,633		7,540,000	1,633	R2.5.26	R3.3.26	371人(358世帯)に対し一人あたり2万円を給付 給付総額 7,420,000円	コロナ禍における子育て世帯の経済負担の軽減につながった	学校教育課
10	生活困窮者支援	①離職や収入減少により住居を失った又は失うおそれが生じている市民に生活維持のために支援 ②住宅確保給付金受給者に対し、1世帯あたり10万円支援 ③10万円×15世帯 ④住宅確保給付金受給者	1,100,000		1,000,000	100,000	R2.4.1	R3.3.26	11人に対し一人あたり10万円給付 給付額1,100,000円	コロナ禍の影響を受け収入減少となる生活困窮者に対し、給付金を支給することにより、住居の確保及び生活の維持につながった	福祉課
11		事業中止等									
12	除菌資材配布	①接触感染を防ぐとともに消毒液の入手困難に対する不安を和らげる ②次亜塩素酸水を希望する世帯に1か月分を無償配布する ③534円×5,756世帯3,074千円、事務費81千円、郵送料487千円 ④市民	3,641,154		3,640,000	1,154	R2.5.19	R2.6.2	次亜塩素酸水(500ml)を2パックずつ5,756世帯に配布	エタノール等の消毒資材が不足していたため、次亜塩素酸水を配布することにより除菌を行い感染予防につながった。	健康増進課
13	妊婦等予防資材配布	①咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染防止 ②1人10枚のマスクの配布 ③妊婦60名、心疾患200名、呼吸器10名、透析80名 計350名 郵送費50千円 ④妊婦・身障者等	49,960		49,000	960	R2.5.20	R2.6.26	妊婦や重度障害者(心臓等)に1人あたり10枚のマスクを配布 配布者数404人	妊婦への治療法が確立していなかったため、マスクを配布することで感染防止に努めると共に、安心して妊娠期間を過ごすことができた。	健康増進課
14	対策情報周知	①感染防止等に関する啓発や支援策情報の周知 ②市報印刷、全戸配布チラシ作成 ③市報印刷製本費(執行済)220,220円(カラー 2円×4P+2色1円×2P)×7,700部×1.1=84,700円、2色1円×1P×7,700部×1.1=8,470円、全戸配布支援策チラシ 15円×7,700部×1.1=127,050円) ④市民	220,220		220,000	220	R2.5.19	R2.11.20	広報紙(R2.6月、11月号)及びチラシ(8月)による感染防止対策等の市内全世帯への周知 配布部数 7,500部(市内全世帯及び公共施設等に配布)	広報紙やチラシを用いて市民に対し支援策の周知を図り、感染防止対策の広報を行うことで感染拡大防止へつながった。	情報課
15	図書館書籍滅菌器具整備	①— ②— ③滅菌機2台 730,000円×2台×1.1 ④市立図書館	1,606,000		1,606,000	0	R2.5.27	R2.10.5	書籍滅菌器を2台整備	図書館の書籍を滅菌することにより感染を予防し、市民が安心して図書を利用できる環境整備ができた。	教育振興課
16	社会体育館網戸整備	①— ②— ③網戸整備 1,334,036円 ④市内社会体育館 体育施設6施設	1,334,036		1,334,000	36	R2.6.1	R2.7.10	社会体育館(6施設)に網戸を設置 網戸設置数101枚	社会体育館利用時の換気を行うことで、感染拡大防止に繋がった	教育振興課
17	学校体育館網戸整備	①— ②— ③網戸整備 中央校・東部校253,792円、西溪校484,000円、東部校2F275,000円 ④市内義務教育学校体育館	1,012,792		1,012,000	792	R2.6.4	R2.7.31	市内義務教育学校体育館(5施設) 網戸設置数98枚	網戸を設置し換気を行うことで感染拡大防止につながった。	学校教育課

No	事業名	事業概要 (実施計画に記載した内容) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費の内容 ③積算根拠 ④事業の対象	事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	担当課
				国庫 補助額	交付金 充当額	その他					
18	感染防止対策資材	①感染拡大防止、飛沫感染防止 ②感染防止対策資材(電子体温計、非接触型体温計、消毒液、マスク、間仕切り、簡易ベッド) ③電子体温計 30本×2,200円×1.1、非接触型体温計15本×40,800円×1.1、消毒液1,800円×100本×1.1、マスク(大)2万枚×55円×1.1、マスク(小)1万枚×55円×1.1、間仕切り75,000円×8個×1.1、間仕切り(追加)75,000円×17個×1.1、簡易ベッド10,500円×30台×1.1、簡易ベッド(追加)10,000円×45台×1.1、広報用色上質紙1000枚×2 15,136円×2、除菌シート 18,018円、消毒用ペーパータオル4,263円、手袋3,630円、除菌シート(詰替用)20,196円	5,739,179		5,738,000	1,179	R2.5.1	R2.12.28	・マスク30,000枚 ・手指消毒液100本 ・非接触式温度計15台 ・間仕切り25台 ・簡易ベッド75台 等	受入時の消毒のほか、検温し体調不良者を確認・隔離するとともに、マスク着用や床との距離を保つことにより、避難所内での感染防止に繋がった。	防災安全課
19	感染防止対策資材	①感染拡大防止、飛沫感染防止 ②感染防止対策資材(マスク)、啓発チラシ ③マスク(大) 12,800枚×50円×1.1 啓発チラシ 7,500部×8円×1.1 ④市民	770,000		770,000	0	R2.4.10	R2.5.20	・マスク12,800枚 ・啓発チラシ7,500枚を全戸配布	・市場においてマスクが不足する中、必要数を確保し市民へ提供することができ感染防止に繋がった。 ・啓発チラシにより感染予防意識が醸成された	防災安全課
20	職場環境密集改善	①職員の分散勤務に対応した環境改善を行い感染拡大防止を図る ②公共ネットワークLAN配線工事及びネットワーク関係備品購入 ③230,142円(内訳:工事費138,600円(完了)、備品購入費91,542円((完了):アクセスポイント2,820円×1.1、アクセスポイントアダプター28,000円×1.1、無線LAN子機2,620円×20台	230,142		229,000	1,142	R2.5.12	R2.5.31	LAN工事 市役所大会議室東、市長応接室、4階小会議室 アクセスポイント 1台 無線LAN子機 20台	庁内におけるリモート環境及び業務分散へ対応した環境整備を行うことにより感染拡大防止へつながった。	情報課
21	新しい生活様式対策支援事業(商工)	①各業種のガイドラインに対応した経費に対して支援を行う ②改装費、設備費、備品費等に要する経費及びガイドライン啓発に要する経費 ③委託料(多久市商工会に委託) 事業費61,578,000円 138事業者 事務費2,118,000円 合計63,696,000円 ④市内店舗・事業所134事業所、観光事業者4事業所	63,088,000		62,557,000	531,000	R2.8.3	R3.3.12	1事業者あたり500,000円(宿泊施設・観光バス・タクシー事業所については1,500,000円)を上限に補助 申請件数136件、総額60,970,000円を補助 (補助内容:換気機能付きエアコンへの取替、換気扇や空気清浄機の購入費など)	市内事業者の感染防止対策に繋がった	商工観光課
22	感染予防対策店啓発事業	①感染予防対策を行う店舗等の店頭に、実施した対策が見えるポスターの掲示を行う ②ポスター印刷に要する経費 ③印刷製本費198,000円(200枚作成)、消耗品費2,939円、通信運搬費6,600円 合計207,539円 ④新しい生活様式対策支援事業実施者、食TAKUプロジェクト登録店舗他	207,539		206,000	1,539	R2.7.9	R3.3.26	新しい生活様式や業種別ガイドライン等に沿った取り組みを行った136の事業者へポスターを配布	市内店舗等をお客様が安心して利用できる環境づくりに繋がった	商工観光課
23	市内宿泊補助事業	①宿泊施設への宿泊需要の喚起と地域消費を促し地域経済の活性化を図る ②宿泊費用の一部に対し補助し、市内商工会加盟店で利用できるクーポン券を発行する ③補助金14,985,000円(5千円×2,997人) 委託料8,257,444円(広報等、クーポン券換金等) 消耗品費4,580円、使用料8,108円 合計23,255,132円 ④市内宿泊施設宿泊者2,997人	23,255,132		23,254,000	1,132	R2.7.9	R3.3.26	宿泊施設が設定するプランに対し、1人1泊につき5,000円を補助 2,997泊分で総額14,985,000円を補助	市内宿泊施設の利用者が増加し地域消費活性化に繋がった	商工観光課
24	新しい生活様式対策支援事業(医療)	①各業種のガイドラインに対応した経費に対して支援を行う ②改装費、設備費、備品費等 ③3病院×1,000千円=3,000千円、7医院×500千円=3,500千円、8歯科医院×500千円=4,000千円、9薬局×500千円=4,500千円 合計 15,000千円 ④市内病院、医院、歯科医院、薬局	12,231,000		12,231,000	0	R2.8.3	R3.3.12	感染予防資材等の購入費を補助 病院3ヶ所、医院6か所、歯科8か所、薬局6か所 申請件数23件 補助金額 12,231,000円 (補助内容 感染予防資材(マスク、使い捨てグローブ等)、空気清浄機、空気清浄機能付きエアコン、パーテーション等の購入	マスクやグローブの購入、換気のためのエアコンの設置について補助したことで、医療機関での感染は予防できた。	健康増進課
25	新しい生活様式対策支援事業(介護)	①各業種のガイドラインに対応した感染予防等の経費に対して支援を行う ②消耗品費、改装費、設備費、備品費等 ③500千円×14事業者=7,000千円 ④市内介護保険事業者 15事業者	6,409,000		6,409,000	0	R2.8.3	R3.3.12	感染予防資材等の購入費を補助 申請件数14件 補助金額 6,409,000円 (補助内容)	利用者や職員の感染予防の推進・安全・安心の確保ができた。	地域包括支援

No	事業名	事業概要 (実施計画に記載した内容) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費の内容 ③積算根拠 ④事業の対象	事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	担当課
			国庫 補助額	交付金 充当額	その他						
26	新しい生活様式対策支援 事業(障害)	①各業種のガイドラインに対応した経費に対して支援を行う ②改装費、設備費、備品費、消耗品等 ③500千円×8施設＝4,000千円 ④市内障害福祉サービス施設 8施設	3,965,000		3,300,000	665,000	R2.8.3	R3.3.12	感染予防資材等の購入費を補助 申請件数8件 補助金額 3,965,000円 (補助内容 空気清浄機付きエア コン、体温計、トイレ・蛇口自動水 栓、使い捨て手袋)	利用者や職員の感染予防の推進・安 全・安心の確保ができた。	福祉課
27	避難所感染防止対策事 業	①指定避難所における感染防止対策 ②感染リスク低減資材購入、保管施設の整備及びWi-Fi環境 整備 ③段ボールパーテーション3,600円×370組×1.1 簡易ベッド5,540円×196台×1.1、簡易ベッド(追加)7,000円× 70台×1.1 防災マット2,740円×248枚×1.1、防災マット(追加)2,730円× 52枚×1.1 防災倉庫(3坪)1,340,000円×8式×1.1 災害時用テント1,200,000円×6基×1.1 保健センターWi-Fi整備費(通信運搬費)100,100円 ④避難所11カ所 避難所利用者	23,914,352		23,812,000	102,352	R2.8.12	R2.12.25	・段ボールパーテーション370個 ・防災マット300枚 ・エアーテント6基 ・防災倉庫8式 ・簡易ベッド266台	体調不良者を隔離するとともに、マスク 着用や床との距離、避難者間の間隔を 保つことにより、避難所内での感染防止 に繋がった。	防災安全課
28	健診時感染防止対策事 業	①健診受診者を減らし密集を避けることで感染リスクを低減す る ②健診・検診に係る費用 ③【がん検診】 委託料1,908千円、報償費89千円 計1,997千 円 【一般健診】 通信運搬費140円×57通＝8千円 【乳幼児健診】 報償費34千円、消耗品102千円 備品費256千円、 委託料18,000円×7人＝126千円、 通信運搬費140円×83通＝12千円 合計 2,539千円 ④健診・検診受信者	2,092,066		2,089,000	3,066	R2.7.9	R3.3.12	健診日数の追加(健診日数2日追 加) 感染予防資材の購入 (購入資材 エタノール500ml×7 本、使い捨てシート480回分、グ ローブ100枚入り×5箱、非接触体 温計7本)	健診日数を2日追加したことで、1日の 健診受診者数が減少し、会場内の密が 解消されたことにより、感染予防につな がった。	健康増進課
29	高齢者感染予防対策事 業	①高齢者のサロンや体操を開催する際の感染リスクを低減す る ②感染防止資材(非接触型体温計)貸与 ③13,500円×50本×1.1＝742,500円 ④高齢者団体 50団体	741,000		741,000	0	R2.7.9	R2.8.14	通いの場や老人クラブなど49か所 へ非接触型体温計の貸与	参加者の体調を確認することで感染拡 大防止に繋がった。	地域包括支援
30	公共料金電子決済事業	①市税、市営住宅使用料、保育料、施設使用料等において電 子決済導入により感染リスクを低減する ②コンビニ納付対応のためのシステム改修費及び収納消込シ ステム改修費 ③システム改修費(コンビニ納付対応一式:収納消込システ ム)契約額5,095,200円 ④納税者、使用料等納付者	5,095,200		5,095,000	200	R2.10.1	R4.3.31	コンビニ納付対応へ収納消込シス テム改修(後期高齢、保育、市営 住宅、公共下水、農集排、督促 状) 令和4年4月より運用開始	電子決済による非接触型の納付が可 能となり感染拡大防止につながった。	情報課
31	AIサーマルカメラ整備事 業	①施設等において来場者の体温を測定し、発熱者の施設入 場を防ぐことで施設利用者の感染リスクを低減する。 ②AIサーマルカメラ導入に関する経費 ③市庁舎、社会福祉会館、児童センター、保育園等 26台 324,500円×26台＝8,437,000千円 多久市体育協会1台(追加購入) 495,000円 セキュリティ対策用の棚(市役所、中央公民館、社会福祉協 議会、あいばれっと) 20,900円×6台＝125,400円 ④施設利用者	9,057,400		9,000,000	57,400	R2.8.9	R2.11.20	市庁舎、児童センター、保育園等 にAIサーマルカメラ27台及びセ キュリティケース6台を整備	施設利用者の体温を計測し、体調確認 を行うことで感染拡大防止に繋がった。	福祉課
32	公共施設水道蛇口改修 事業	①公共施設における手洗い時の感染リスクの低減 ②水道蛇口の手動式からセンサー式へ改修費用 ③3,088,800円 体育施設15か所 文化施設2か所 社会教育 施設21か所 ④施設利用者	3,088,800		3,088,000	800	R3.1.25	R3.5.31	体育施設15か所 文化施設2か所 社会教育施設21か所	感染リスクを減らすことで、感染防止に 繋がった	教育振興課
33	中央公民館換気用大型 送風機購入	①会場使用時の換気による感染リスクの低減 ②大型送風機の購入経費 ③12,320円(税込)×2台 ④施設利用者	24,640		24,000	640	R2.8.14	R3.3.19	業務用大型送風機2台整備	イベント開催時において換気を行うこと により感染拡大防止に繋がった。	教育振興課

No	事業名	事業概要 (実施計画に記載した内容) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費の内容 ③積算根拠 ④事業の対象	事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	担当課
			国庫 補助額	交付金 充当額	その他						
34	観光施設トイレ改修事業	①改修工事により感染防止対策を行うことで感染リスクを低減する ②トイレ改修工事に要する経費 ③設計委託費1,519,100円 工事請負費15,402,200円 ・夢想庵トイレ改修工事14,500,200円 ・幡船の里トイレ改修工事902,000円 合計16,921,300円(見込み) ④施設利用者	15,680,500		15,600,000	80,500	R2.7.15	R3.6.11	自動ドア、非接触型器具の設置及び換気扇の追加 ・設計監理業務委託料1,519,100円 ・工事請負費14,161,400円 ・改修内容:自動ドア1箇所、便器5基、手洗い器12基、換気扇1基、トイレブースの抗菌仕様など	トイレ改修により感染リスクの低減に繋がった	商工観光課
35	病院オンライン面会事業	①面会制限時等における面会手段としてタブレットを整備し、入院患者及び面会者の不安軽減を図る ②多久市立病院事業会計へ補助金として支出 タブレット端末整備費用及びインターネット回線整備費等を補助対象経費とする ③積算根拠:1病棟、2病棟(iPad 基本使用料2台分 初期費用3,300円×2台分＝6,600円 通信費(2台分)6,400円×9ヶ月＝57,600円、消耗品(イヤホン等)16,800円 ④入院患者及びその面会者	77,840		69,000	8,840	R2.7.27	R3.3.31	R2年度利用件数42件 タブレット数2台	直接会っての面会はできないが、家族と患者との会話やお互いの様子を見ることができることで、患者や家族の心のケアができた。	市立病院
36	庁舎感染防止対策事業	①庁舎内における感染防止対策を行い感染リスクを低減する ②アクリルパーテーション、トイレ蛇口自動水栓化、スタンド型消毒器の設置、マスク、体温計 ③アクリルパーテーション、ビニール幕、ケース 2,438,796円 トイレ蛇口自動水栓化 30箇所 2,219,800円 スタンド型手指消毒器 20,900×12台＝250,800円 消毒液、ボトル、ポンプ 636,731円、マスク、体温計 4,708円 合計 5,550,835円 ④施設利用者	5,551,061		5,548,000	3,061	R2.7.9	R3.3.31	窓口等アクリルパーテーション166枚設置 手指消毒器設置12台 トイレ蛇口自動水栓30箇所 消毒液378ℓ	飛沫感染防止や各階に消毒液スタンドを設置することで、庁内における感染防止に繋がった。	財政課
37	庁用バス感染防止対策事業	①庁用バス利用時における感染リスクの低減 ②感染予防対策資材の整備 ③非接触型体温計 12,000円×2、消毒液、スプレーボトル、マスク 19,586円 合計 43,586円 ④庁用バス利用者	43,586		43,000	586	R2.7.9	R2.9.10	非接触型体温計2個 消毒スプレー4ℓ、マスク250枚設置	利用者の体調確認及び手指消毒を行うことで感染拡大防止に繋がった。	財政課
38	WEB会議環境整備事業	①対面による会議での感染リスクの低減及び移動制限時の会議手段の確保 ②Web会議周辺機器整備費用及びシステム利用ライセンス費用 ③Web会議周辺機器285,120円(高性能WEBカメラ119,020円×1、汎用WEBカメラ19,470円×4、無指向性スピーカー18,590円×2、小型スピーカー1,980円×4、ヘッドセット(片耳用)1,100円×4、ヘッドセット(両耳用)1,320円×4、小型マイク4,180円×8) アプリライセンス50,160円(1ライセンス45,600円×1.1) 計335,280円 WEB会議用LAN配線工事費297,000円(WEB会議対応会議室4カ所増) ④職員等、市庁舎等	632,280		631,000	1,280	R2.7.20	R2.10.30	WEBカメラ 5台、無指向性スピーカー2セット、小型スピーカー 4セット、ヘッドセット(片耳用)4個、ヘッドセット(両耳用)4個、小型マイク 8個 アプリライセンス 1ライセンス LAN工事 東庁舎、中央公民館視聴覚室、中央公民館1F研修室、市庁舎1F打合室	パソコン周辺機器の整備によりWeb会議等への対応が可能となり、Web会議等への参加及び感染リスクの低減につながった。	情報課
39	支援策等広報事業	①感染防止等に関する啓発、ワクチン接種の情報発信等 ②市報印刷 ③市報印刷製本費(執行予定額)33,880円(カラー 2円×2P×7,700部×1.1) ④市民	33,880		33,000	880	R2.7.9	R3.3.19	広報紙(R3.3月号)にワクチン接種に関する記事を掲載し、市内全戸へ周知(配布部数 7,500部(市内全戸及び公共施設等に配布))	広報紙に記事を掲載することにより市内全戸への周知につながった。	情報課
40	「新しい生活様式」啓発事業	①「新しい生活様式」に関するポスターを作成し市民への定着を図る ②ポスター作成費用 ③450円×180枚×1.1≒90千円 ④市民	89,100		89,000	100	R2.7.9	R2.8.31	「感染症予防の基本」周知用のポスターを作成し、人が集まる公的施設やスーパーなど市内180か所に掲示	公民館やスーパー、銀行など人が集まる場所に掲示したので、感染防止策を広く周知できた。	健康増進課

No	事業名	事業概要 (実施計画に記載した内容) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費の内容 ③積算根拠 ④事業の対象	事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	担当課
				国庫 補助額	交付金 充当額	その他					
41	GIGAスクール通信環境整備事業	①GIGAスクール構想の実施によりオンライン授業を可能とし、感染症下での学校教育継続のための環境整備を行う ②通信環境整備(学校、家庭)費用及びタブレット端末整備費用 ③ネットワーク接続設定委託料14,000千円、消耗品380千円 通信運搬費 1,980千円 ICT環境保守委託料285千円、 タブレット端末(1,295台)整備費 62,894千円 (国費41,265千円) ④市内義務教育学校の児童生徒1,295人	35,493,220		35,491,000	2,220	R2.7.31	R3.3.26	市内義務教育学校の全児童生徒用端末として1,312台及びネットワーク環境の整備	端末や通信環境を整備することにより、感染症下での学校教育が継続できる環境の整備することができた。	学校教育課
42	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①学校において登校者の体温を測定し、発熱者の施設入場を防ぐことで学校内での感染リスクを低減する。 ②AIサーマルカメラ購入費、マスク消毒液、フェイスシールド等購入費 ③ 607,000円×1.1×4台(中央校2、東部校1、西溪校1) ＝2,670,800円、中央校1,664,600円、東部校1,332,300円、西溪校1,332,300円(国庫補助1/2) ④市内義務教育学校の児童生徒(中央校、東部校、西溪校)	7,004,769	3,493,000	3,498,000	13,769	R2.8.9	R2.11.20	AIサーマルカメラの整備 中央校2台、東部校、西溪校各1台 保健衛生用品(マスク86箱・消毒液289ℓ)の購入及び換気対策(網戸設置248箇所)	校内における感染防止対策を行うことにより、感染拡大防止につながった。感染症下での学校教育継続環境が整備できた。	学校教育課
43	経済振興キャッシュレス決済促進事業	①キャッシュレス決済による接触感染低減及び市内経済回復のため、市が指定する市内QRコード決済加盟店においてキャッシュレス決済を利用した場合に、支払額の20%のポイント付与 ②支払額に対し20%のポイントを付与 付与対象期間:令和2年12月1日～31日(予算額に達するまで) 対象店舗:市が指定する市内QRコード決済加盟店 付与率:支払額の20%、付与上限:1回1,000円、1人5,000円 ③委託料7,112,211円 ・付与ポイント費用6,854,263円 ・広告料257,948円	7,047,768		7,047,000	768	R2.8.6	R3.3.31	キャッシュレス決済利用で20%のボーナス付与 【実績】①加盟店81店舗⇒126店舗 ②利用回数13,000回⇒27,000回 ③期間内決済金額1,500万円⇒4,700万円	キャッシュレス決済の推進及び、市内経済回復に繋がった	商工観光課
44	義務教育学校特別教室等空調設備整備事業	①3密を回避するため児童生徒が分散して授業を行ううえで特に必要な個所への空調整備 ②空調設置工事費 ③工事費 68,530,000円、設計委託料3,030,500円 ④児童生徒及び教職員	68,563,000		46,638,000	21,925,000	R2.9.29	R3.11.15	空調設備の設置 中央校 7教室10基 東部校 3教室 6基 西溪校 5教室 8基 換気設備の設置 中央校 39教室73基	空調設備及び換気設備の整備により分散授業への対応などコロナ禍における学校教育の継続につながった。	学校教育課
45		事業中止									
46	乳児特別定額給付金	①特別定額給付金の対象外となった乳児の保護者の新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う経済的負担の軽減 ②給付金額 乳児1人あたり10万円 ③91人×10万円、通信運搬費18,000円、消耗品費1,000円 ④4月28日から3月31日までに生まれた乳児の保護者	8,121,696		8,121,000	696	R2.10.1	R3.5.14	R2.4.28～R3.4.1までに出生した78名に10万円を給付	コロナ禍における子育て世帯への経済的負担の軽減に繋がった	健康増進課
47	消防団活動感染拡大防止対策事業	①消火活動を行う消防団員が着用している防火衣を活動中に団員間において着回しすることによる接触感染を避けるため、1人1着となるよう整備し感染リスクの低減を図る ②防火衣購入費用 ③67,960円×123着×1.1 ④消防団員	9,194,988		9,194,000	988	R2.10.21	R3.3.19	防火衣123着の整備	火災時に着用する防火衣を全消防団員数配備することにより、着回しによる感染防止に繋がった。	防災安全課
48	社会教育関係感染拡大防止対策事業	①社会体育館や各町公民館での会議、イベント開催時における感染拡大防止資材の整備 ②マスク、消毒液及びフェイスシールド等の資材購入費用 ③322,710円 ④施設利用者	573,126		322,000	251,126	R2.10.1	R3.3.25	消毒液(ポンプ付き)32個、 消毒液(詰替え用)230ℓ、 フェイスシールド365枚	感染防止対策を徹底することで利用者の感染防止に繋がった	教育振興課
49	地域活動感染拡大防止対策事業	①地域の催事参加者を検温するため、行政区等に非接触型体温計を配置 ②非接触型体温計購入費 ③7,678円×106個 ④市民	813,868		813,000	868	R2.11.2	R2.11.16	市が非接触型体温計を購入し、市内行政区に貸与(106個)	非接触で瞬時に温度を検知し体調を確認することができ、感染拡大防止に繋がった。	総務課

No	事業名	事業概要 (実施計画に記載した内容) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費の内容 ③積算根拠 ④事業の対象	事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	担当課
			国庫 補助額	交付金 充当額	その他						
50	庁用バス感染拡大防止 対策車両導入事業	①感染リスク低減のため、換気扇及び運転席仕切り板を装備したマイクロバスを導入 ②車両購入費 ③車両購入費 1台×7,876,890円、税・保険料 29,020円 合計 7,905,910円 ④バス利用者及び職員	7,905,910		7,904,000	1,910	R2.10.2	R3.3.24	マイクロバス1台(28人乗り)	換気設備を有する車両の整備により、 感染拡大防止に繋がった。	財政課
51	入札契約等業務感染拡大 防止対策事業	①接触感染低減のため、入札の一部を郵便入札に変更 ②郵便入札に係る通信運搬費 ③(140円+320円)×99件=45,540円、84円×59件=4,956円 合計50,496円 ④職員及び関係事業者	41,178		41,000	178	R2.9.29	R3.3.26	普通郵便10件 簡易書留郵便85件	業者との接触の機会が減り、感染拡大 防止に繋がった。	財政課
52	選挙事務感染拡大防止 対策事業	①選挙開披作業時の密集、密接を低減するために投票用紙 読取分類機を導入 ②自動読取分類機購入費用 ③本体1台 2,931,500円、増設ユニット2台2,090,000円、設定 費用110,000円 ④職員	5,131,500		5,131,000	500	R3.2.5	R3.3.5	投票用紙読取分類機本体1台、増 設ユニット2台の整備	開披作業時に密になる状態が以前より 短時間になり感染リスクの低減に寄与 した。	総務課
53	庁舎感染拡大防止対策 事業	①接触感染低減のため、庁舎西側出入口の自動ドアを接触 式スイッチから非接触式スイッチに改修 ②自動ドア改修工事費 ③工事費 231,000円 ④市民及び職員	231,000		230,000	1,000	R2.10.5	R2.11.20	庁舎西側自動ドアスイッチを非接 触式に交換	スイッチに触れる機会がなくなったため 感染拡大防止に繋がった。	財政課
54	多久市リサイクルセン ター感染拡大防止対策事 業	①換気用扇風機を整備し、感染リスク低減を図る ②全閉式工場扇購入費用 ③29,200円×1台、20,300円×2台、14,600円×2台、(計) 99,000円 ④作業従事者	99,000		98,000	1,000	R2.10.23	R2.12.15	工場扇 5台整備	施設内における換気が促進され感染リ スク低減につながった。	市民生活課
55		事業中止									
56	学校臨時休業対策費補 助金	(学校給食費返還等事業) ①臨時休校に伴い廃棄等となった給食費へ補助 ②廃棄となった食材費(食材のキャンセルができず、購入した 食材に係る経費及びその処分に要した経費) ③鶏むね肉:31,050円(28,750円+消費税2,300円)23kg×1,250 円 ④多久市学校給食センター	8,000		8,000	0	R2.4.1	R2.5.21	給食食材仕入業者に対しキャンセ ル分の食材購入費用等に対し補 助	仕入業者に補助することにより負担軽 減が図られた。	学校教育課
57	学校臨時休業対策費補 助金	(衛生管理改善事業) ①学校給食の再開に向け、衛生管理の徹底・改善を行う ②自動手洗消毒器などの衛生管理に必要な設備の更新に係 る経費・衛生関係消耗品の購入に係る経費 ③316,289円(設備更新費:137,214円・衛生関係消耗品費: 179,075円)ノータッチ式薬液ディスペンサー(12台)・ヘアネット (35×1,848円)・帽子(33×3,003円)・非接触型体温計(2× 6,998円)・食品加工用手袋(2×650円) ④多久市学校給食センター	106,339		106,000	339	R2.4.1	R2.5.21	消毒液ディスペンサー12個や感 染防止資材(ヘアネット35個・帽子 33個・非接触型体温計2個・食品 加工用手袋200枚)の購入	施設内における感染拡大防止につな がった。	学校教育課
58		事業中止									
59	WEB会議環境整備事業 その2	①感染リスクの低減とリモート会議への対応 ②TV会議・WEB会議に係る環境整備に要する経費 ③周辺機器(モニター、モニター台、プロジェクター、スクリー ン)356千円 ④市職員	323,180		315,000	8,180	R3.3.18	R4.3.18	モニター 1台 モニター台 1台 プロジェクター 1台 スクリーン 1台	周辺機器を充実させることにより複数人 による会議への参加が可能となった。	情報課
60		事業中止									
61	国税データ連携事業	①接触機会の低減による感染拡大防止 ②税務署へのデータ提供に要するシステム改修費 ③システム改修費 330,000円 ④国税職員及び市職員	330,000		291,000	39,000	R3.4.20	R3.10.29	確定申告データ送付を行うためシ ステム改修の実施	所得税確定申告の内容をデータにて提 供することが可能になり、非対面にて行 うことで感染拡大防止が図れた。	税務課

No	事業名	事業概要 (実施計画に記載した内容) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費の内容 ③積算根拠 ④事業の対象	事業費(円)	事業費(円)			事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	担当課
				国庫 補助額	交付金 充当額	その他					
62	新しい生活様式対策支援 事業(商工第2弾)	①各業種のガイドラインに対応した経費に対して支援を行う ②改装費、設備費、備品費等に要する経費 ③50万円×100事業者=50,000千円 郵送料、消耗品、印刷製本費 217,000円 商工会事務費 1,000,000円 合計 51,217千円 ④市内店舗、事業所100事業者	55,324,000		46,794,000	8,530,000	R3.5.27	R4.3.18	130事業者に対し感染防止対策費用を補助 補助金額53,933,000円 エアコン、空気清浄機、パーティションなど	各事業所の感染防止対策を徹底することで市内における感染拡大防止につながった。	商工観光課
63	多久市事業継続支援金 事業(第2弾)	①経営環境が悪化する事業者の事業継続を図る ②③令和2年12月から令和3年3月までの1か月の売上額が 前々年同期比で20%以上減少した事業者に支援 1事業者 20万円 20万円×300事業所、事務費400千円 計60,400千円 ④市内中小企業者、小規模事業者、個人事業者	60,186,211		58,247,000	1,939,211	R3.3.18	R3.7.26	令和元年同月比で20%以上減少した事業者に20万円を支給 市内 事業者300件に対して、総額で 60,000,000円を支給	第1弾と同様に、卸・小売業、建設業、 宿泊飲食業からの申請が特に多く、事 業継続の手助けとなった	商工観光課
64	頑張る市内商連等活動 支援事業	①地域住民の生活等を支える商連等への人の流れを生み出 し消費を促進する ②各商連行う活動費に対する補助金 ③300,000円×8商連、加盟店数10千円×250店舗、商工会事 務費490,000円 計5,390千円 ④市内商連	5,290,975		4,745,000	545,975	R3.4.21	R4.2.28	市内8商工連盟が実施する活動 費等に対し補助 補助金額4,800,975円 (活動内容:事業所PRマップ作 成、街なかイルミネーション事業な ど)	コロナ禍において消費活動が低迷する 中、市内各商工連盟が活動を行うこと で集客につながり地域での消費活動へ つながった。	商工観光課
65	事業所向けWeb構築事業	①バーチャル商店街を構築し商工業者の新たな販路拡大を 図る ②ホームページ開設費用(デザイン料、セットアップ料等)に対 し補助 ③補助額440,000円(費用の8割を上限)×10店舗 計 4,400,000円 ④市内商工業者	4,400,000		3,873,000	527,000	R3.6.15	R4.3.31	市内10事業所のホームページを 作成 (サイト概要:事業所のPRや取扱 商品の掲載など)	コロナ禍において消費活動が低迷する 中、ウェブサイト上に店舗紹介を行うこ とにより販路の拡大地域商店のPRにつ ながった。	商工観光課
66	市民向けデジタルツール 活用事業	①非接触による新しい生活様式へ順応するため市民を対象に ITツールの利活用に関する研修会を開催する ②講習会実施費用 5会場×各2回 計10回 ③1回あたり100,000円 10万円×10回×1.1 計1,100,000円 ④市民	1,100,000		968,000	132,000	R3.5.24	R4.3.15	各町公民館等による研修会の開 催6回 まちづくり交流センターにてスマー トフォン講座の開催2回 ツール利活用動画作成	研修会の開催により、ツール等への理 解が深まり非接触による新しい生活様 式への順応につながった。	商工観光課
67	デジタル技術利活用推進 事業	①行政におけるデジタル技術の活用を図るため ②ワークショップ、実証実験等に係る委託費 ③ワークショップ、実証実験、実績報告、事務経費等 1,000,000円×1.1 計1,100,000円 ④市職員	1,100,000		968,000	132,000	R3.10.26	R4.3.17	佐賀大学生及び市職員による ワークショップの開催3回	市職員のデジタルDXに対する理解と意 識が深まった。ワークショップの中で提 案された事項等など今後検討を進めて 行く基礎となった。	総務課
68	公園トイレ蛇口改修事業	①手指非接触化による感染リスクの低減 ②市内公園 6カ所のトイレ蛇口を自動水栓に取替 ③100千円×12基、50千円×2基 計1,300千円 ④施設利用者	1,239,700		1,144,000	95,700	R3.3.18	R3.12.22	蛇口自動水洗取替 12基	手洗い時に直接蛇口を触らなくてすみ、 感染防止に繋がった。	都市計画課
69	WEB会議環境整備事業 (病院)	①感染リスクの低減とリモート会議への対応 ②パソコン及び周辺機器購入費 多久市立病院事業会計へ 補助金として支出 ③PC購入(2台)及び備品購入費 計231千円 ④病院職員	215,160		210,000	5,160	R3.3.18	R3.3.31	パソコン2台 月1～2回開催	緊急事態宣言都市やまん延防止地域 からの来訪者だけでなく、院外からの来 訪者を減らすことで感染リスクが下が り、現在まで院内での感染が起ってい ない。	市立病院
70	多久市子どものインフル エンザ予防接種費用助成 事業	①インフルエンザの患者が減少することで医療機関の負担を 軽減 ②インフルエンザ予防接種費用助成 ③一人あたり2,000円×2,000回及び事務経費 計4,086,000円 ④市民	2,845,800		2,845,000	800	R2.10.1	R3.3.15	生後6月～12歳までは1人につき 2回まで、13歳～15歳までは1 回接種 延1,320人に補助(1回につき上限 2,000円)	子どもたちがインフルエンザ予防接種を 積極的に接種したことにより、インフル エンザの流行がほぼなかったため、市 内の医療機関も通常通りの診察ができ た。	健康増進課
71	感染防止対策資材購入 事業	①庁内クラスター発生を予防 ②感染拡大防止対策資材費 ③消耗品(エタノール、カット綿) 343,000円 ④市庁舎利用者	342,138		342,000	138	R3.3.18	R3.3.31	住民や職員の手指消毒用のエタ ノール等感染予防資材の購入 エタノール81ℓ、清拭用カット綿47 箱、除菌シート4箱	こまめな手洗い、手指消毒に取り組ん でもらったので、庁舎内で感染する人も いなかったことにより、市役所の機能を 継続することができた。	健康増進課

No	事業名	事業概要 (実施計画に記載した内容) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費の内容 ③積算根拠 ④事業の対象	事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業実績	事業効果	担当課
				国庫 補助額	交付金 充当額	その他					
72	休日子ども診療体制支援事業	①休日夜間における診療体制の維持 ②休日夜間診療に係る経費の一部負担 ③負担金 1,946,000円 ④休日夜間診療所受診者	1,945,944		1,945,000	944	R3.3.18	R3.3.18	休日夜間子ども診療所の運営安定化のための指定管理施設への支援	小児救急医療の維持・確保につながった。	健康増進課
73	人工呼吸器導入事業	①高度な医療機器導入による医療機能の強化 ②医療機器導入費用 多久市立病院事業会計へ出資金として支出 ③人工呼吸器購入(1台)備品購入費4,180千円 ④病院利用者	4,169,000		3,680,000	489,000	R3.3.18	R3.6.30	人工呼吸器1台を整備	現在人工呼吸器が、1台しかないため、入院患者等の体調急変等に対応できる体制ができた。	市立病院
74	PCR検査器導入事業	①検査体制の強化 ②検査機器導入費用 多久市立病院事業会計へ出資金として支出 ③PCR検査装置、安全キャビネット購入(1台) 備品購入費2,788,500円 ④市民	2,986,500		2,726,000	260,500	R3.3.18	R3.5.20	PCR検査機器1台を整備 R3年度654件の検査を行った	濃厚接触者や症状が出ている要検査者のうち外注では結果が2日から3日かかっていたが、13分で結果が出るようになった。また、新型コロナウイルス感染の陰性である証明が可能となった。	市立病院
75	学校保健特別対策事業	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①感染症対策等を徹底することで児童生徒の学ぶ機会の確保 ②学校における感染症拡大防止対策に係る費用 ③中央校前期1,600,000円、東部校前期800,000円、西溪校前期800,000円、中央校後期800,000円、東部校後期800,000円、西溪校後期800,000円 計5,600,000円 ④市内義務教育学校の児童生徒及び教職員	5,572,196	2,786,000	2,630,000	156,196	R3.3.18	R4.1.25	マスク640枚、消毒液134ℓ等の保健衛生用品を購入	感染拡大防止策を徹底することで学校教育の継続へ繋げることができた。	学校教育課
76	トレーニングルーム感染防止対策事業	①感染症拡大防止 ②感染症拡大防止対策としてアクリル板の購入費用 ③消耗品(アクリル板)124,000円 ④施設利用者	110,880		109,000	1,880	R3.7.26	R3.8.20	アクリルパーテーション4台	パーテーションパネルで仕切ることで、飛沫の飛散防止となり感染拡大防止につながった。	教育振興課
77	体育施設等感染防止対策事業	①感染症拡大防止として消毒液用スタンドの設置 ②消毒液用スタンドの購入費用 ③消毒液用スタンド26台×30,000円 計780,000円 ④施設利用者	752,400		687,000	65,400	R3.6.16	R3.9.24	アルコール用消毒スタンド(足踏み式)26台	手指消毒の徹底及び飛沫の飛散防止により、感染拡大防止につながった。	教育振興課
合計			655,120,021	6,279,000	611,816,000	37,025,021					